

第1回定例会 | 令和8年2月12日～3月19日



# 議決した案件



## 議案の内訳

- 市長提出議案…104件 (条例案14件 予算案26件 承認案2件 諮問4件 同意案50件 その他8件)
- 議員提出議案…1件 (意見書案1件)
- 議長発議…1件 (議員派遣1件)

## 議決結果

- 全会一致可決…101件
- 賛成多数可決…5件

### ■表決が分かれた案件の表決結果

議案番号 ▼	会派名 議員名	清新の会						創志会					市民クラブ				公明党			創生会			真政倶楽部		未来の風	日本共産党					
		上岡 裕明	大下 博隆	田坂 武文	貞岩 敬	北林 光昭	重森佳代子	乗越 耕司	上田 秀	向井 哲浩	中曾 久勝	岡田 育三	玉川 雅彦	奥谷 求	小池恵美子	落海 直哉	景山 浩	中川 修	石原 賢治	下向智恵子	原田 栄二	坂元百合子	片山 貴志	岩崎 和仁	牧尾 良二	山田 学	宮川 誠子	木村 輝江	鈴木 英士	谷 晴美	
議案第72号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第85号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第88号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第90号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第103号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※「議」は議長「○」は賛成「×」は反対

### 表決が分かれた議案名

- 議案第72号 東広島市国民健康保険税条例の一部改正について
- 議案第85号 令和8年度東広島市一般会計予算
- 議案第88号 令和8年度産業団地造成事業特別会計予算
- 議案第90号 令和8年度東広島市国民健康保険特別会計予算
- 議案第103号 令和8年度東広島市下水道事業会計予算



詳しくはこちらから

# 「やさしい未来都市、計画から実行のステージへ」 過去最大規模となる当初予算を可決



過去最大を更新する規模の当初予算となる令和8年度一般会計予算を可決しました。

本予算は、「やさしい未来都市、計画から実行のステージへ」と銘打ち、直面する課題への切れ目ない適切な対応に加え、超大型の民間投資等を追い風とした成長投資を進めることで、市民の暮らしを支えるとともに将来世代への責任を果たす

こと、そして成長の恩恵を広く市民へ届けることを念頭に編成されています。これまでの様々な取組みを継承しつつ、「やさしい未来都市」の実現へ向け、更なる成長のための各施策を計画段階から実行段階へと発展させ、その成果を市民の皆様実感していただけるよう、着実に推進することを目指した予算となっております。

令和8年度一般会計予算 **総額1,089億2,000万円**  
(前年度比+18億2,000万円)

【4つの重点テーマ】

**Well-being\*を実感できる地域共生社会の実現**

26.8億円 (前年度比+4.6億円)

- 災害に強い地域づくりの推進
  - ・防災意識の啓発 (体験型防災イベントの開催)
- 多様な主体による活躍の促進
  - ・女性の活躍支援 (女性のビジネススキル向上支援)

注目 地域の担い手確保に向けた協同労働の取組み

**次世代学園都市の実現** 36.6億円 (前年度比+28.5億円)

- 次世代をけん引する先端産業集積の推進
  - ・産業団地の整備 ((仮称)吉川地区産業団地の造成)
- 都市形成に向けた道路網等交通ネットワークの充実
  - ・次世代学園都市ゾーンのまちづくりに向けた道路整備の促進
- カーボンニュートラルの実現
  - ・脱炭素化に向けた啓発 (脱炭素化セミナーの開催)

注目 次世代学園都市ゾーンのまちづくりに向けた調査検討

**多様な主体と地域資源を活かした人口減少地域総合対策**

11.9億円 (前年度比+2.0億円)

- 地域に活性化をもたらす特性を活かしたまちづくり
  - ・地域活性化のための行政の取組み (福富みらいベースの整備)
- 地域内経済循環の拡大による地域経済の活性化
  - ・地域内での生産の強化 (東広島こい地鶏の生産振興)

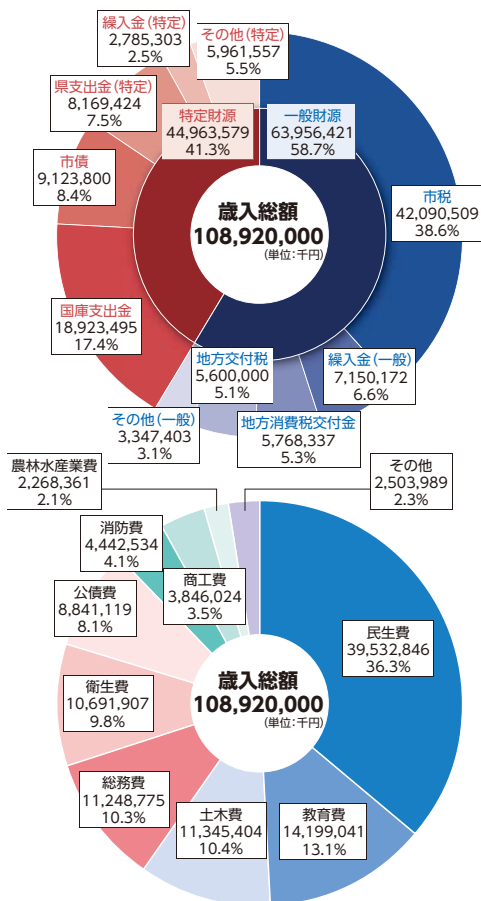
注目 ふるさと納税を活用した地域活力創出の仕組みづくり

**子どもの健やかな成長のための環境づくり**

127.5億円 (前年度比+8.4億円)

- 安心して子どもを産み育てられる支援の充実
  - ・東広島版ネウボラの充実 (5歳児健診の実施)
- 子ども・若者を支える地域の子育て支援力の強化
  - ・コミュニティ・スクールの充実 (コミュニティ・スクールシンポジウムの開催)
  - ・こどもまんなかの居場所 (BBベース) づくりの促進

注目 小学校給食費の完全無償化の実現



\* Well-being (ウェルビーイング) 肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。

## 委員会での主な質疑

### 【予算特別委員会】

**Q** この予算に市長が込められた思いを問う。

**A** 第五次総合計画に掲げる2つの柱「世界に貢献するイノベーション創造のまち」と「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」の実現に向けて市政運営を進めてきた結果、人口増加や税収の伸びなど、まちの成長を実感できる段階に入ったと認識している。一方で、対処すべき課題もあり、これまでの成果と本市の強みを最大限に活かし、次のステージへと成長させていくことが重要である。大学等の立地や半導体集積地域としての優位性を活かし、その活力を市内全域へ循環させることで、市民がウェルビーイングの向上を実感できる生活環境が整っていくと考えている。本予算はこうした方向性を具体化し、計画から実行へ移行していくものであり、市民生活の安心を支える施策と、将来につながるまちづくりへの投資を両立させることを念頭に編成した。

### Q

人口減少地域対策として、今住んでいる人の大変さを実感し自分事としていかなければ、誰一人取り残さない社会は実現できないと思うが、どう考えているか。

**A** 人口減少地域の人材の確保については、かねてから大きな問題と捉えており、そのため地区別計画を策定し、実行する組織として地域振興部を設置した。国の制度も活用しながら地域を支援していくことが必要だと考えており、地域経済を回していくといった認識を持ち、活力を増やすことができるような人材を配し、その地域が元気になるように取り組んでいきたい。

### Q

大都市を介さず世界へとつながる<sup>※</sup>ローカルハブを目指すために外せない事業はどのようなものと考えているか。

**A** 次世代学園都市の実現が世界からローカルハブと認識してもらえらることになると考えている。その核となるのが次世代学園都市ゾーンであり、広島

## 委員会での主な自由討議

大学周辺地区と吉川地区における世界標準と言われるような都市インフラの整備が重要である。こうした取組みが本市への投資などの好循環を生み、市民にウェルビーイングを感じ、選ばれ住み続けたいと思われる都市となるよう取り組んでいきたい。

### 【予算特別委員会】

**意見** 本市議会において決議した平和施策である原爆被爆資料の多言語化が形になった。原爆被爆資料保存協議会のサポートをしながら<sup>※</sup>ポジティブピースの一助としてほしい。

**意見** 災害に強いまちづくりについて、災害はいつか必ず来るとい認識の下で執行部も議員もしっかり取り組んでいく必要がある。

**意見** 元気輝きポイントについて、制度が先行しているように見えるが、外出支援や地域サロンの支援等を含めた全体のバランスの中で捉えることで良い形につながると考える。

## 本会議での討論

**反対** 市民が強く求めている国民健康保険税の負担軽減や給食費の無償化、補聴器補助制度の創設などが予算に含まれていない。また、公的産業団地の整備が計画されているが、体力のある企業への大盤振る舞いではなく、物価高騰に苦しむ中小企業への直接支援こそが求められている。さらにPFAS問題について、地域住民が独自で行った調査結果に寄り添うべきと判断し、反対する。

**賛成** 本予算はさらなる東広島市の成長に向けて検討を重ね、まちづくりの構想、計画を実行のステージに移行すべく編成されている。次世代学園都市の実現やふるさと納税を活用した地域活力創出の仕組みづくり、小学校給食費の完全無償化の実現など、第五次総合計画後期基本計画が目指すウェルビーイングな未来の実現に向けた役割を担う予算内容となっていることから、賛成する。

<sup>※</sup>ローカルハブ 地方圏(=ローカル)における、国内外の様々な都市・地域と連携した(=ハブ)「自立(独立)都市圏」と定義される造語。  
ポジティブピース 単に戦争のない状態(消極的平和)ではなく、貧困や差別、格差など戦争の原因となる構造的暴力がない状態(積極的平和)。

# 「地域の未来を担う若者を育てる教育」の 継続を求める意見書を県教育委員会等に提出



## 「地域の未来を担う若者を育てる教育」の継続を求める 意見書（抜粋）

河内高等学校が立地する河内地域は都市部とは異なる地理的・社会的特性を有し、河内高等学校も長年地域活動の中心として重要な役割を果たしてきており、賀茂高等学校への統合により廃校となると、地域の高等教育における進学先の選択肢など教育機会が縮小されてしまうことに加え、地域コミュニティの弱体化、さらには、子育て世代の居住地選択に影響を及ぼし、人口流出に拍車をかけ、移住・定住の鈍化につながるといったことが強く懸念される。

また、地域のニーズとして、少人数教育環境を望む中学生が一定数存在していることに加え、広域オンライン授業の活用や部活動の連携など、近隣校との協力体制を強化することで、再編を行わずとも学校の特色化・魅力化を図り、教育効果の向上を実現することは十分に可能であると考えます。

今回の素案に対し、地域住民、同窓会、住民自治協議会、商工団体、PTA等からも河内高等学校の存続を強く求める要望が出ていることに加え、東広島市の施策においても人口減少地域総合対策として、地域特性を活かしたまちづくり、人口の流出抑制などによる地域コミュニティの活性化に積極的に取り組み、未来を担う若者の地域定着も重視するとしている。

以上のことを踏まえ、東広島市議会は、県立高等学校の統合・再編における適切な判断を求め、次のとおり強く要望する。

- 1 地域住民や関係団体からの要望を重く受け止め、本市の人口減少地域総合対策及び将来のまちづくりへの影響も十分考慮し、統合・再編を見直し、河内高等学校を存続校として明確に位置付けること。
- 2 近隣の高等学校等との連携を強化し、教育内容のさらなる充実を図ること。

広島県教育委員会が令和8年2月に取りまとめた「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画（素案）」において、令和15年度までに県立高等学校18校を7校に統合する方針が示され、本市内では河内高等学校を賀茂高等学校へ統合する案となっています。

これを受け、提出者・賛成者合わせて9名の議員から本市議会に、河内地域の実情やまちづくりへの影響等を踏まえた見直し等について、広島県知事、広島県教育委員会教育長等に対して求める意見書案が提出され、全会一致で可決しました。

### 委員会での主な質疑

#### 【文教厚生委員会】

Q 河内地域の活性化のために河内高等学校はどのように関わっているのか。

A 各種イベントに生徒が学生の視点を取り入れ

ながら積極的に参加してくれているほか、地域の伝統文化を守る活動にも取り組んでくれている。

#### 委員会での主な自由討議

#### 【文教厚生委員会】

意見 河内地域は人口減少が続く中、地域に高等学

校が存在すること自体が教育環境を支える重要な要素となっている。統合により学力の異なる生徒が同じ学校に進学することになった場合、全ての生徒にとって適切な学習環境となるのかという点については特に慎重に考える必要がある。生徒一人一人の学び方や進路に合った教育環境を確保するという観点も重要である。河内高等学校は教育機関としての役割だけでなく、地域コミュニティの拠点としての役割も担っており、高等学校が無くなれば教育機会だけでなく地域の活力にも影響を及ぼす可能性がある。高等学校の再編については地域特性や教育の多様性を十分配慮した議論が必要である。